

2004年3月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 コード番号 8233

## 2004年2月度 高島屋営業報告

2002年11月以来、1年3ヶ月ぶりに、広域事業を含む総額で前年を上回る！

百貨店事業概況 本年 2.3 実質 3.4 (前年比%) \* 実質とは、米子店を含む前年比

2月度は、閏年による営業日の1日増(横浜店+2日)と、温暖な気候と好天に恵まれ、春物商材の動きも良く、18店計前年比は+3.4%となった。特に、横浜店、大阪店、新宿店など大型店と、引続き改装効果により前年を大幅に上回った玉川店が全体を押し上げた。

店舗別概況							関西計		
	関西	大阪店	京都店	泉北店	岡山店	岐阜店	米子店	本年	実質
売上		5.4	0.3	4.4	-3.4	-1.5	-3.5	-0.4	2.4
入店客数		4.4	0.2	3.8	1.2	1.6	-6.1		

\* 大阪店には和歌山店・堺店、京都店には洛西店の売上を含む

店舗別概況									関東計	
	関東	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎店	
売上		-5.6	8.8	3.2	14.7	2.3	7.7	-0.7	9.0	4.1
入店客数		0.3	10.6	-0.1	15.4	15.1	5.1	2.9	9.8	

\* 横浜店には港南台店の売上を含む

<店舗別> 新宿店や大阪店では春物衣料・雑貨ともに動きが良く、特に、大阪店では婦人・紳士衣料・雑貨とも二桁の伸びを示した。また、横浜店では、「みなとみらい線」(2/1)開通に合わせ開催した「大ヨコハマ祭」(1/28~2/17)が奏効し、大宮店、高崎店も企画催しが好調で前年を大幅に上回った。一方、東京店は引続き改装工事の影響で前年を下回った。

広域事業概況	法人	通販	広域計
	-4.3	-6.0	-4.9

<広域事業> 法人事業は新規大型物件の受注増もあり健闘したが、前年実績には及ばず、また、通信販売事業は「期末特別号」(2/2発行)で強化したファッション品は順調に推移したが、リビング等の掲載数の絞込みの影響もあり前年を下回った。

総計	本年	実質
	1.7	2.7

### 商品別概況 (百貨店協会商品区分)

	本年	実質		本年	実質		本年	実質
紳士服・用品	2.5	3.7	身のまわり品	1.9	2.3	食料品	2.8	3.7
婦人服・用品	4.9	6.4				食堂・喫茶	-0.5	1.1
子供服・用品	3.4	4.5	家具	-1.0	-0.2	雑貨	-4.1	-3.0
その他衣料品	-1.6	-0.3	家電	23.5	24.8	サービス	-3.8	-2.4
衣料品計	3.8	5.2	その他	-2.9	-2.2	その他	17.8	19.5
			家庭用品計	-1.3	-0.5	合計	1.7	2.7

<店頭商品別> 商品別では、春物衣料を中心に紳士服(前年比+5.8%)、婦人服(同+7.0%)、スポーツ(同+9.9%)が好調に推移、婦人靴(同+16.4%)、化粧品(同+8.7%)が牽引した婦人雑貨(同+8.1%)、`ビ`・子供(同+3.0%)、紳士雑貨(同+1.7%)も前年を上回った。また、食料品(同+4.0%)は「グルメのための味百選」等、各店催しが好調、バレンタイン商戦も、有名ブランドチョコの新規導入が奏効し前年比+5%という結果になった。一方、前年の値上りの駆け込み需要等の反動がみられた特選衣料雑貨(同-0.4%)、宝飾品(同-14.0%)等は前年を下回った。

以上